



羽村市立栄小学校

学校だよりNO. 3

令和7年5月26日

できる！できた！を増やす

校長 梶 まゆみ

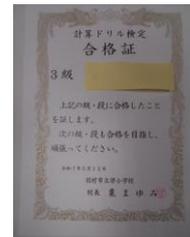
5月17日（土）今年度初めての学校公開がありました。悪天候の中、たくさんの方の保護者の皆様にご来校いただきました。ありがとうございました。



4時間の公開授業でしたが、そのうちの1時間はゲストティーチャーの方から「羽村音頭」を学びました。また、羽村に伝わる伝統的な踊り「人波踊り」も学びました。少し難しい部分もあったのですが子供たちは動きを覚え、輪になって踊ることができました。体育館で輪になって踊ると、お祭りのような雰囲気に。「楽しかった。」という子供たちの声もあり、とてもよい時間を過ごせたのではと思いました。「羽村音頭」も「人波踊り」も、完璧ではなくても「できる！」と子供たちが思うことが大切です。6年生の代表児童からゲストティーチャーの方へのお礼の言葉で「羽村の伝統を守っていきます」といったことがとても印象的でした。たくさんの方からのご支援・ご協力をいただき、この授業が実施できました。心より感謝申し上げます。



今年度から、月に1回、「計算ドリル検定」を実施しています。これは、計算タイムの時間に子供たちが自分でチャレンジしたい1～6年生の計算に関する検定プリント（9級から8段まで）を1枚選び、計算タイムの時間に解いて提出し、90点以上をとると「合格証」がもらえるというものです。検定を受ける・受けないは、子供たち自身が決めます。受ける級や段も子供たちが決めます。



第1回は4月24日に実施し、第2回は5月12日に実施しました。

たくさんの子供たちが自主的・主体的に検定を受け、合格証を手に入れています。また、第1回で合格証がもらえなかったことをバネにして練習プリントに取り組み、第2回で合格証を手にした子もたくさんいます。

- ① 自分で選ぶ
 - ② 自分で決める
 - ③ 自分の結果を受け入れる
 - ④ 粘り強く取り組む
- 「できる！」「できた！」

この取組を通して、自己効力感「やればできる」・自己成長感「伸びている」ことを子供たちが感じるきっかけとなればと思います。今後も、子供たちが何事にも自主的・主体的に、そして粘り強く取り組めるよう、教職員一同、力を合わせて教育活動を進めてまいります。

引き続き、保護者の皆様、地域の皆様のご理解・ご協力のほど、よろしく願います。